

A型肝炎ワクチンの説明書

商品名：Havrix720/Havrix1440

■A型肝炎について

A型肝炎ウイルスによる急性肝炎です。発熱、黄疸、腹痛、食欲不振がみられます。軽症例が多いのですが、50歳以上では劇症化といって死亡につながる場合があります。治療のため帰国を余儀なくされることもあります。

発症2週間前後は感染力が強くヒト-ヒト感染する可能性があります。

■感染経路

- ・汚染された水や食物(二枚貝や生鮮野菜、カットフルーツ)を介した経口感染。
- ・日本では生牡蠣での感染や性行為(リミング)による集団感染。

■流行地域

- ・東南アジア諸国、中国、インド、アフリカ、東欧、西欧など全世界で見られます。

■診断と治療

- ・採血による抗体の上昇や腹部エコー、腹部CTによって総合的に診断します。
- ・特別な治療法はなく、安静と対症療法のみです。

■予防方法

- ・食事の前の手洗いを徹底する。
- ・加熱されていない食物の摂取を避ける。
- ・ワクチンを接種する。

■ワクチン接種対象者

厚生労働省や米国疾病対策予防センターが接種を推奨する国や地域に赴く方。

■ワクチンについて

輸入ワクチンのみ取り扱っています。

	Havrix720(輸入ワクチン)	Havrix1440(輸入ワクチン)
【製造会社】	GSK(GlaxoSmithkline)	GSK(GlaxoSmithkline)
【適応年齢】	1歳～15歳。	16歳以上。
【接種回数】	合計2回。	合計2回。
【スケジュール】	初回と半年～1年後。	初回と半年～1年後。
【接種方法】	筋肉注射。	筋肉注射。
【持続期間】	15年。	25年。

■副反応

注射部位の違和感、発赤、疼痛を生じることがあります。まれに発熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛を認めます。ごくまれにアナフィラキシーショックを起こします。

■諸注意

過去に同ワクチンにアレルギーを起こされた方、発熱している方は接種できません。妊娠・授乳中の方には推奨しません。

■健康被害が生じた場合

輸入ワクチンでは輸入代行業者による副作用救済制度を利用できます。ワクチン接種後に発生した副反応などの症状には保険診療で対応します。